

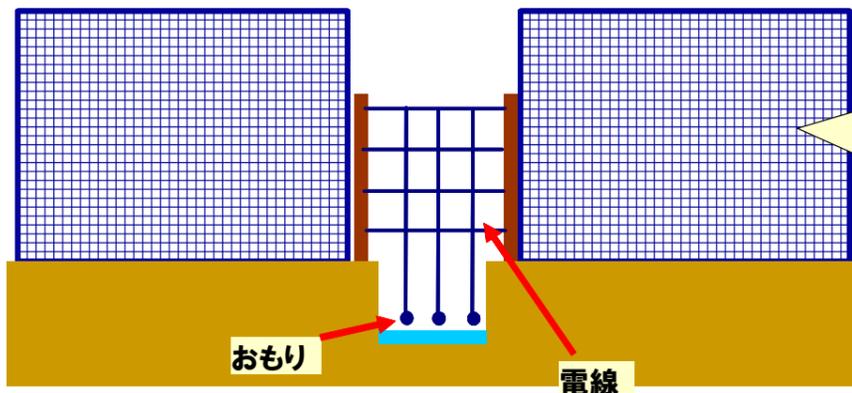
もし、野生動物の侵入箇所や侵入しそうな箇所を見つけたら
 集落柵に改良を加えたい、補強したい、工夫をしてください。
 方法が分からない場合はご相談下さい。



シカの飛び込みやすい斜面部分の金網柵にネット柵でかさ上げをしている。



ネット柵と間伐材を利用して侵入防止効果を増強
 動物が近づきにくいように工夫されている。



電気柵による水路からの侵入防止方法
 おもりを付けた電線を水路上に垂らして侵入を防止する。電線が下に接触すると漏電するので注意が必要。

集落ぐるみの野生動物対策も重要です

集落柵だけで被害を完全に無くすのは困難です。野生動物が目当てにする餌を極力少なくするよう集落環境を整備したり、集落ぐるみで対策に取り組むことも重要です。

(問い合わせ先)

〇〇市役所〇〇課 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
 〇〇農林振興事務所 農政振興課 森林林業課〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇(代表)
 兵庫県森林動物研究センター 0795-80-5516

集落柵点検の実施方法

1 いつ点検すれば良いのか

定期点検は出来る限り頻繁に、少なくとも月に一度は実施するように心がけてください。普段から散歩出来るように管理道を整備しておけば、不具合が見つかるたびに直ぐ補修出来るし、人が行き来することで野生動物を遠ざける効果も期待出来ます。冬場は、山中に餌が少なくなることもあり、柵が破られる機会が増えますので特に注意してください。



2 どのように点検するのか

(1) 集落柵点検

- ①複数名のメンバーで柵に沿ってずっと歩き、柵の破損箇所や不備、土砂の流出、藪の繁茂の状況、野生動物の侵入箇所、痕跡等を点検して回ります。
- ②補修が必要な箇所には、カラーテープ等で目印を付けておけば、他の人が補修に来ても場所が分かりやすく便利です。
- ③集落柵のルート地図を持参し、補修の必要箇所と内容を記録しておくこと、後から補修作業に必要な資材の種類や量が判断出来ます。

(2) 記録

別紙のような記録用紙を作っておくと、みんなで補修の方針を考えるときに役立ちます。また、記録用紙を点検毎に保存しておくと、補修効果を確認することが出来ます。

(3) 補修作業

集落柵点検表により、作業計画を立て補修を行います。

3 点検に必要な道具類は

集落柵設置ルート地図(1/5000以上の縮尺の地図)、筆記用具、バインダー、メジャー、目印用カラーテープ、(集落柵点検表、コンパス、デジカメ)など

これだけご注意ください!!



集落柵の点検作業は、山の中や藪の中も歩くことがあります。くれぐれも怪我や事故の無いように、安全第一に出来る範囲で実施するようにして下さい。

春から秋にかけては、ヒル、ダニ、ハチ、毒ヘビやウルシなど有害動植物の被害に遭わぬよう、服装や足回りの備えを充分にしておきます。また、クマの生息地域では、鈴やラジオなど音の出る物を身に付けてください。

集落柵点検表

点検実施月日: 第3回目 平成〇〇年〇月〇日(日) 点検実施者: 兵庫太郎、青垣次郎

・点検記録(地図に書き込んだ番号(記号)を枠内に記入する。)

物理的破壊等	金網の破損	②	③	④										
	支柱の破損・湾曲	⑤												
	倒木による破損・湾曲	⑤												
	土砂流出、崩れ													
	森林繁茂による圧迫													
侵入可能箇所	扉の開け放し													
	柵の切れ目													
	水路による分断、隙間	B	C											
	道路による分断	A	A											
	飛び越え箇所													
動物の痕跡	明らかな侵入箇所	②	④											
	足跡	①												
	糞	①												
	ヌタ場													

・その他の特記事項

最近、C部分の水路を伝ってシカが侵入している様子があり、次の集まりで相談予定。

・補修の状況

〇月〇日補修作業実施
 金網の補修、倒木の除去と支柱の交換
 C部分は電気柵で補強



集落柵点検マニュアル

集落柵(集落の周りを囲う防護柵)の定期点検が必要な訳は!!

野生動物の被害から農作物を守るために作った防護柵ですが、油断して放置していると、樹木の繁茂や倒木、土砂の流出、侵入を試みる野生動物により柵は痛んで防護効果はどんどん下がり、再び被害が出始めることになります。

定期的点検により破損箇所を補修すると共に、乗り越え等による侵入箇所を見つけた場合は、柵の機能を向上させるために改良を加えることも重要です。



集落柵の機能を維持するために

- ・定期点検を実施してください。
 保守管理のための定期点検の実施を集落のルールとして下さい。
- ・集落ぐるみで点検すること
 毎年、管理責任者を決めて、みんなが当番制で見回りするなど、集落ぐるみで柵を管理して下さい。
- ・点検・補修のための管理作業道を確保してください。
 効率的な点検・補修作業には作業道が必要です。出来る限り、柵の外側に管理道を確保して下さい。日頃から散歩道として活用すれば、人の頻りに作業道を歩くことで、野生動物を集落からさらに遠ざけることができます。